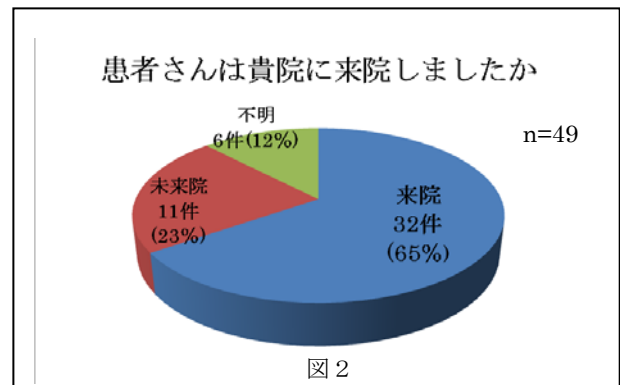
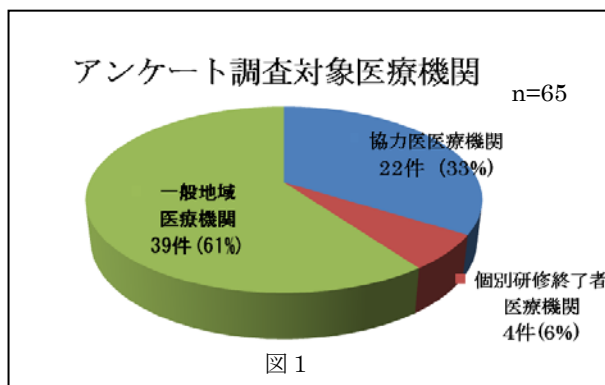


## 当センターにおける逆紹介患者の現状

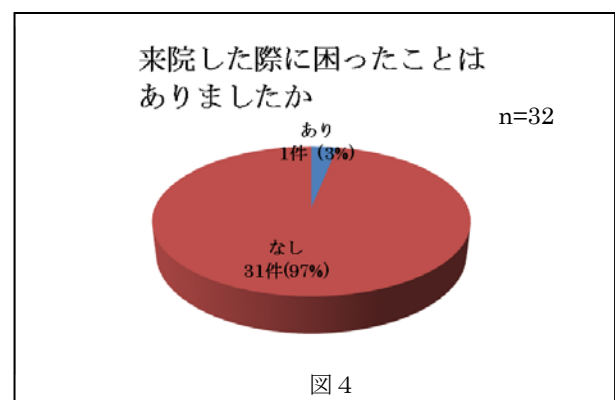
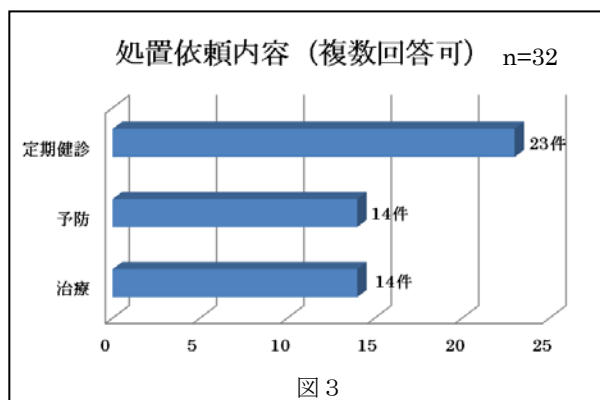
当センターでは、地域で対応可能な患者さんに対し積極的に逆紹介を行っています。H23年度には逆紹介の現状を把握して、より良い連携を図ることを目的に逆紹介を行った地域医療機関65件に対しアンケート調査を行いました。アンケートに御協力くださった先生方、ありがとうございました。今回はそのアンケート結果についてご報告いたします。

## アンケート結果



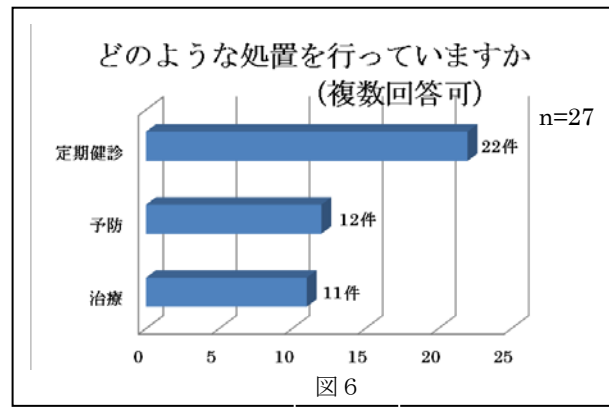
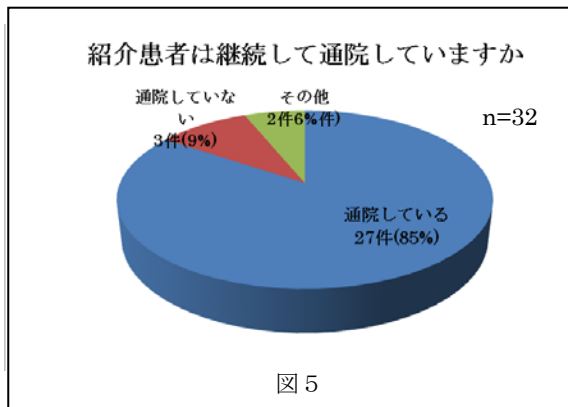
アンケート調査対象医療機関65件の内訳は、協力医医療機関22件(33%)、個別研修終了者医療機関4件(6%)、一般地域医療機関39件(61%)と一般医療機関が最も多い結果でした(図1)。

逆紹介患者が医療機関に来院した件数は「来院」32件(65%)、「未来院」11件(23%)、「不明」6件(12%)で(図2)、アンケートの回答数は49件(回収率74%)でした。



処置依頼内容は「定期健診」が23件と最も多く、次いで「予防」・「治療」共に14件でした(図3)。

来院した際に困ったことが「なし」と回答した地域医療機関は30件(97%)、「あり」と回答した地域医療機関は僅か1件(3%)でした(図4)。「あり」と答えた1件の回答内容は「問題はなかったが電子機器が好きで触りに行ってしまう」「待合室に座ってられないといった行為がみられた」といったものでした。



逆紹介後の通院については「継続して通院している」が27件（85%）、「通院していない」が3件（9%）、「その他」が2件（6%）、その他の2件は定期健診で来院予定との回答でした(図5)。

行っている処置内容は「定期健診」が22件と最も多く、次いで「予防」12件、「治療」11件でした(図6)。

**自由意見：**紹介後何かお困りの点がありましたら記入してくださいとの設問には、「特にありません」（8件）、「紹介後來院するまでにとっても期間があく」、「患者さんの長期経過予測と治療計画の立案」が記載されていました。

自由意見の中で以下の要望がみられましたので回答させていただきます。

Q 医科との対診結果がある場合には情報提供書と共に添付希望。

A 対診書があれば原本をコピーをし、情報提供書と共に郵送を行うように致します。

Q センターと医療連携を実施していることが分かるプレートを作成して欲しい。

A 現時点ではプレートの作成は考えておりません。以前に送付しております「協力医証」をご利用ください。

Q X線写真のコピーを頂きたい。

A センターではX線写真のコピーができないため、必要な場合はX線写真の貸し出しとさせていただきます。

## まとめ

逆紹介患者の85%が逆紹介先に継続して通院しており、患者が来院した際に問題が見られたケースは1件と少ない結果でした。これは逆紹介先への患者選択を、「対応上問題なくホームケアやセンターでの口腔健康管理により処置が必要でない状態が継続している患者」としていることで、逆紹介先でも問題なく通院できていると思われれます。また、「処置依頼内容」・「逆紹介先で行われている処置の内容」の設問でも定期健診が最も多い結果であったことから、紹介後も口腔内が管理されていることが伺えます。

連携に関する自由意見では、地域医療機関側から逆紹介患者を積極的に受け入れたいという回答が多くみられました。アンケート結果から逆紹介先での診療に問題が見られなかったため、医療連携室では、現状の患者選択や逆紹介先の選定基準をもとに、今後も地域医療機関への逆紹介を行っていきたいと考えています。

（「連携だより」に関するお問い合わせは） 東京都立心身障害者口腔保健センター・医療連携室  
 TEL (03) 3235-1141 (代) / FAX (03) 3269-1213  
 URL <http://www.tokyo-ohc.org>